

特集

事業連繋大学：信州大学、富山大学、金沢大学

2021.12.11発行
(毎月発行)

ENGINE版インターンシップ・協力企業への取材はじまる！

9月に始まったENGINE版インターンシップもいよいよ企業への取材が本格的にスタートしました。そこで、今号では、取材時の様子を特集して報告します。(新型コロナウイルス感染症対策として取材対象者と学生間の距離をあげ、撮影時のみマスクを外して取材しています。)

東洋観光事業株式会社 (ホテルブエナビスタ)

11/19 (金)、ホテルブエナビスタを運営する東洋観光事業 (松本市) の取材に、本学から細川美空さん (工3)、高木美優さん (経2) が参加しました。

重山敬太郎ホテルブエナビスタ総支配人への取材では、信州大学の1年生2名も撮影を担い、他大学との連携による取材となりました。高木さんは「地元だけではなく別の地域について知ることができた」と語っています。



重山総支配人への取材の様子



細川さん



市民タイムスからインターンシップの取材を受ける高木さん (左) と細川さん (中央)

日本海ガス絆ホールディングス株式会社

12/1 (水)、日本海ガス絆ホールディングス (富山市) の取材に、高木美優さん (経2) が参加をし、この取材内容を記録に残すため、吉本駿哉さん (経1) が同行しました。

社員への取材では、SDGsの視点や環境への配慮、富山の地域活性化を中心に聞き取りを行いました。とりわけ地域の発展のために新規ビジネスの創出に力を入れる日本海ガス絆ホールディングスの近年の取組みを取材するため、本番取材に先立ち、当該企業が主催する「第3回北陸ビジネスプランコンテスト」へも事前取材に出向くなど、幅広い視点からインターンシップに取り組んでいます。

2社の企業取材を担当した高木さんは「将来を考えるきっかけとなった」との感想を寄せています。



取材内容を説明する高木さん (右)



高木さん



富山新聞からインターンシップの取材を受ける高木さん (左)

三協立山株式会社

12/2 (木)、小田切優美さん (経3)、杉下晟作さん (経2) が三協立山 (高岡市) を訪問し、社員3名にインタビューを行い、学びを深めました。

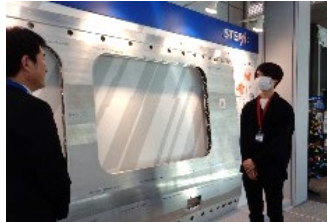
小田切さん、杉下さんは、現在、あるいは将来に必要な「現状を把握する力」「変わり続ける力」「役割を果たす力」「失敗を恐れずに挑み続ける力」の把握に資するような質問項目を設計し、取材に挑みました。会議室や主力製品別のショールーム、外観といった撮影場所の選定も学生主体で打合せを行いました。小田切さん、杉下さんは「ただ大学生活を過ごしているだけでは体験できない貴重な時間となった」と振り返っています。



撮影をする杉下さん (左) と小田切さん (右)



取材内容を説明をする小田切さん (左)



取材をする杉下さん (右)

立山科学グループ

12/10 (金)、立山科学グループ (富山市) への取材に、市村朱音さん (経3)、宮崎友理さん (経3) が参加しました。この2名の取組みを記録するため、吉本駿哉さん (経1) が同行しました。

30歳代までの若手から中堅社員3名に対する取材では、3名による座談会方式を取りました。社員に対し、自身の強みと弱み、失敗の経験が現在につながったこと、富山地域への貢献、といった経験則に基づいた質問を中心に取材を行いました。取材を終えて市村さんは「失敗に関する考え方について、今の自分にも取り入れたい」、宮崎さんは「自分の人生に置き換えて話を聞いていた。自発的に行動することの大切さの気づきを得た」といいます。

取材後、すぐに大学に戻り、取材した動画編集のレクチャーを受けるなど、精力的に活動しています。



取材をする宮崎さん (左) と市村さん (右)



宮崎さん



市村さん

